品番

ASY-S 型

家庭用

ハイブリッド式マイコン
加湿器

取扱説明書

保証書つき

このたびは、お買い上げまことにありがとうございます。
ご使用になる前に、この取扱説明書を最後までお読みください。
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

ご意見をお寄せください。
http://www.tiger.jp/

もくじ

点検・修理などを依頼されるときなどに記入しておくと便利です。

ご購入年月日 年 月 日
ご購入店名 TEL ( )

日本国内 100V 専用

交流 100V 以外の電源では使用できません。

1 安全上のご注意

ご使用前によくお読みの上、必ずお守りください。

※ここに表した注意事項は、お使いになる人や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。
※本体に貼付しているご注意に関するシールは、はがさないでください。

表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、以下の表示で区分して説明しています。

⚠ **警告**	**取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷[*1]を負うことが想定される内容を示します。**
⚠ **注意**	**取り扱いを誤った場合、使用者が傷害[*2]を負うことが想定されるか、または物的損害[*3]の発生が想定される内容を示します。**

*1 重傷とは、失明や、けが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
*2 傷害とは、治療に入院・長期の通院を要さないけがややけど、感電などをさします。
*3 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

図記号の説明

△記号は、警告、注意を示します。具体的な注意内容は図記号の中や近くに絵や文章で表します。

⃠記号は、禁止の行為であることを示します。具体的な禁止内容は図記号の中や近くに絵や文章で表します。

●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を示します。具体的な指示内容は図記号の中や近くに絵や文章で表します。

⚠ 警告

改造はしない。修理技術者以外の人は分解したり、修理をしない。
火災・感電・けがの原因。

交流１００Ｖ以外では使わない。（日本国内100V専用）
火災・感電の原因。

定格15A以上のコンセントを単独で使う。
他の器具と併用すると、分岐コンセント部が異常発熱して発火するおそれ。

電源コードは、破損したまま使わない。また、電源コードを傷つけない。
（加工する・無理に曲げる・高温部に近づける・引っ張る・ねじる・たばねる・重いものを載せる・挟み込むなど）
火災・感電の原因。

差込プラグにほこりが付着している場合は、よくふき取る。
火災の原因。

差込プラグは根元まで確実に差し込む。
感電・ショート・発煙・発火のおそれ。

差込プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。
感電・ショート・発火の原因。

ぬれた手で、差込プラグの抜き差しをしない。
感電・けがのおそれ。

禁 止

子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない。
転倒させると水がこぼれたり、けがをするおそれ。

運転停止直後は、本体内部に手をふれない。
やけど・けがの原因。

⚠ 警告

不安定な場所や、毛あしの長いカーペットなどの上に置かない。
転倒して水がこぼれたり、安全装置の誤作動の原因。

吸気口や吹出口・すき間に、ピン・針金など金属物（異物）を入れない。
感電や異常動作してけがをするおそれ。

本体を丸洗いしたり、水につけたり、水をかけたりしない。
ショート・感電・発火・故障のおそれ。

お手入れするときや、水受け皿をはずして水をすてるときは、差込プラグをコンセントから抜き、本体が冷めてから行う。
感電・やけど・けがのおそれ。

⚠ 注意

使用時以外は差込プラグをコンセントから抜く。
けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因。

差込プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず差込プラグを持って引き抜く。
感電やショートして発火するおそれ。

タコ足配線はしない。
火災のおそれ。

禁 止

使用中や使用直後は持ち運ばない。
水がこぼれて感電のおそれ。

本体は両手で水平に、振動を与えないように持ち運ぶ。
水タンクや水受け皿がはずれて落下し、けがのおそれ。
また、傾けたり、転倒すると水がこぼれるおそれ。

熱に弱いテーブルや敷物などの上で使わない。
テーブル・敷物の変色・変形の原因。

壁や家具・カーテン・天井などの近くで使わない。
シミがついたり、カビの発生・変形の原因。

加湿しすぎない。
長時間連続で加湿すると、結露などで室内をぬらしたり故障の原因。

テレビ・ラジオ・コードレス電話・エアコンなどから、1m以上離して置く。
テレビ画面のチラツキや、雑音が入るなど電波障害の原因。

本体内部のお手入れに塩素系、酸性タイプの洗剤は使わない。
洗剤から有害ガスが発生し、健康を害したり、故障の原因。

1 安全上のご注意

末永くご使用いただくために、必ずお守りください

●プレフィルターはこまめにお手入れする。

使用環境によってほこりがたまり、本体・水受け皿が変形し、故障・事故の原因。（お手入れのしかたはP.11参照）

●吸気口・吹出口をフキンなどでふさがない。

本体内部の温度が上がって、本体・水受け皿が変形し、故障・事故の原因。

●カーテンの近くで使用しない。

吸気口がふさがって吸気性能が低下し、本体内部の温度が上がって、本体・水受け皿が変形し、故障・事故の原因。

●水受け皿・フロートはこまめにお手入れする。

ミネラルが付着するとフロートが正常に動作しないことがあり、本体・水受け皿が変形し、故障・事故の原因。

●水タンクおよび水受け皿に水道水以外の水やお湯を入れない。

・浄水器の水・アルカリイオン水・ミネラルウォーター・井戸水・汚れた水などを入れると、カビや雑菌が発生しやすい原因。

・お湯（40℃以上）や化学薬品・芳香剤・洗剤を入れた水を入れると、本体が変形し、故障の原因。

●水タンクの水は毎日新しい水道水と交換する。
水受け皿に残った水は毎日すてる。
また水受け皿は週2回程度、定期的にお手入れする。

汚れや水アカで性能が低下したり、悪臭がするおそれ。水受け皿で水アカが膜状になって付着し、吹出口から風とともに吹き出すおそれ。

●直射日光のあたる場所や、暖房器具の近くで使わない。

水タンク内の空気が膨張し、本体から水があふれるおそれ。また、プラスチック部分の変形・変質の原因。

●気化フィルター・Ag除菌ユニットはこまめにお手入れする。

本体内側の汚れが取れにくくなり、加湿量の低下やカビ、雑菌の繁殖による悪臭、故障の原因。

●Ag除菌ユニットを分解しない。

性能の低下、故障の原因。

●水受け皿・気化フィルター・Ag除菌ユニット・吸気口カバー・プレフィルターをはずしたまま使わない。

性能が発揮されず、ほこりがたまり、故障の原因。

●凍結しないように、使わないときは、水タンク・水受け皿の水をすてる。

凍結したまま使うと故障の原因。

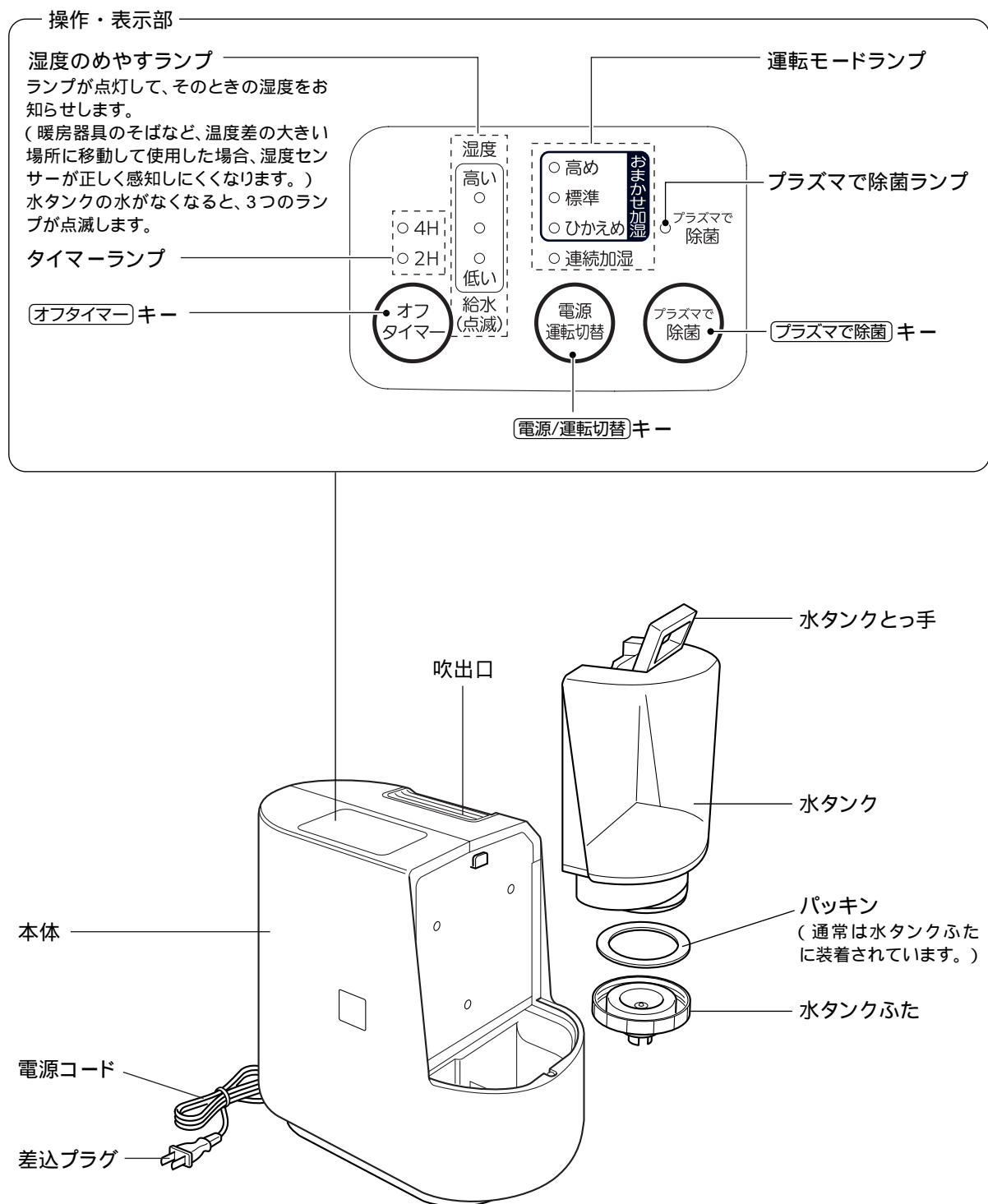
●安定した台の上に設置する。

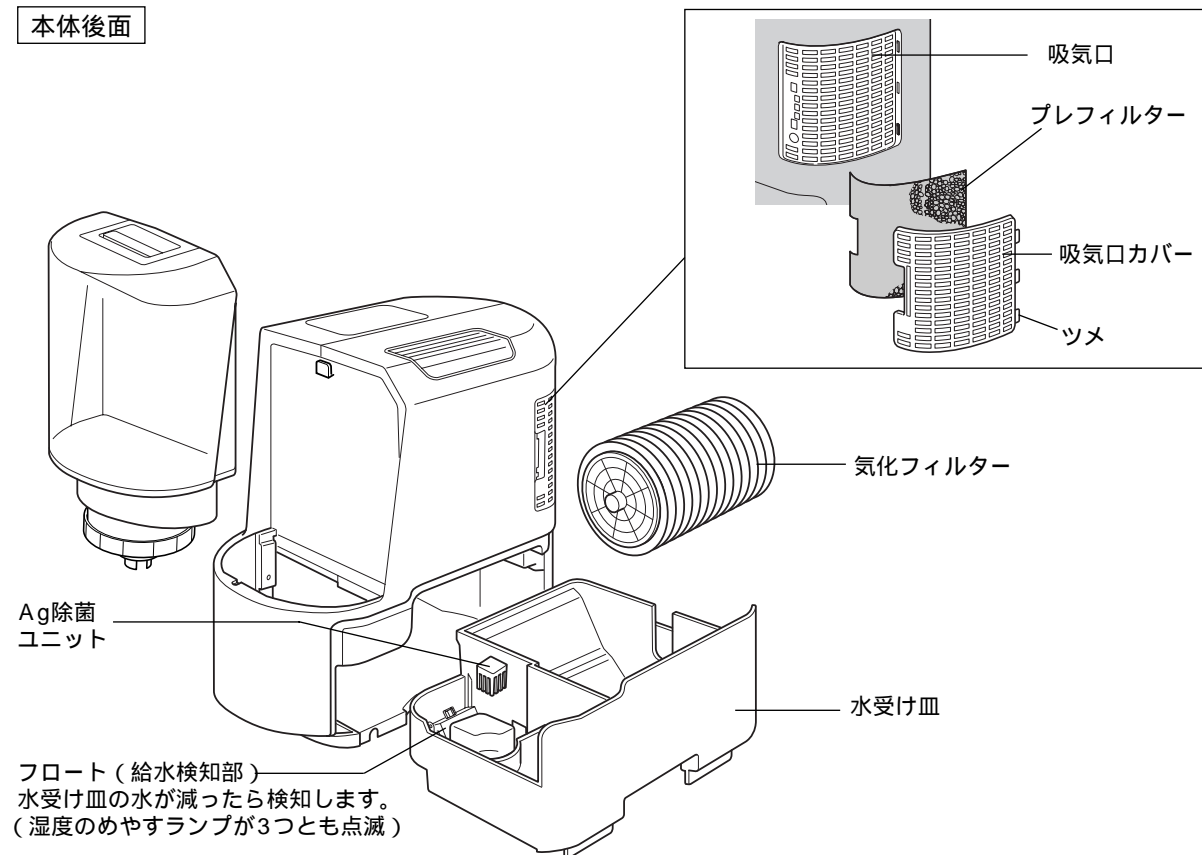
設置面が水平でないと、製品の振動により水がこぼれるおそれ。

●本体をさかさにしない。

故障の原因。

2 各部のなまえとはたらき

〈操作・表示部〉

2 各部のなまえとはたらき

本体後面

「プラズマで除菌」搭載

太陽光の除菌作用と同じOHラジカルで菌の活動を抑制します。
プラズマで除菌 キーで、「プラズマで除菌」の運転の入・切ができます。
※「プラズマで除菌」の単独運転はできません。

マイナスイオンについて

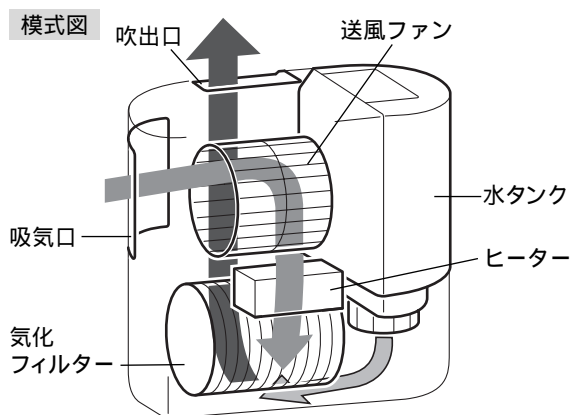
「プラズマで除菌」の運転中はマイナスイオンが発生します。
※マイナスイオンの単独運転はできません。

Ag除菌ユニットについて

水受け皿にAg除菌ユニットを取りつけて使用します。
Ag除菌ユニットには、Ag（銀）を含んだガラスタブレットを内蔵しており、水受け皿にたまった水をAg⁺（銀イオン）の作用で除菌します。

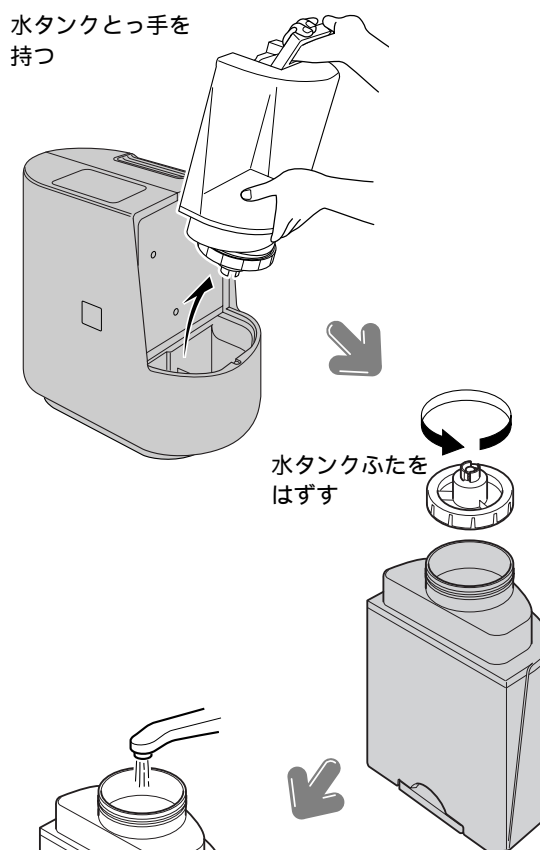
加湿のしくみ（ハイブリッド式）

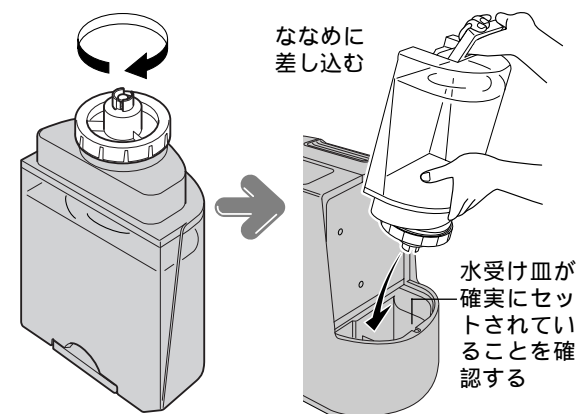
- **水を沸とうさせず、温めた風を気化フィルターにあてて水を蒸発させ、湿った空気を吹出口から出して加湿します。（熱湯になりません。また、吹出口からの風も熱くありません。）**

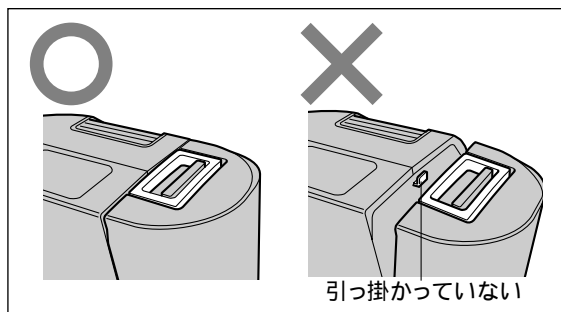
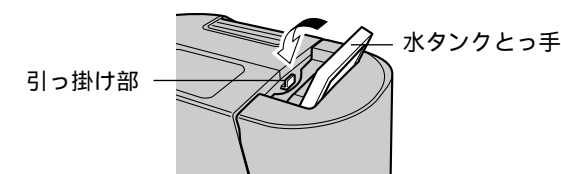
模式図

- **蒸気や霧は見えません。**

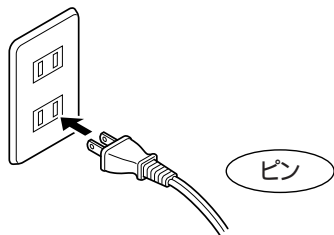
3 加湿のしかた

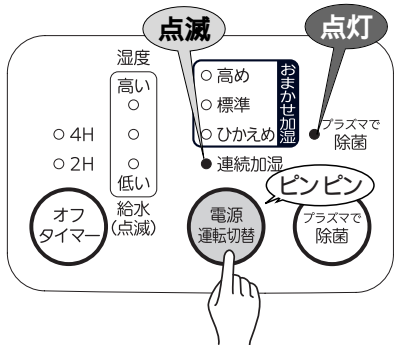
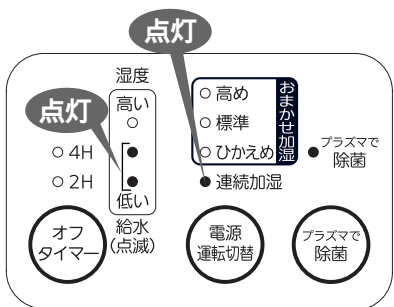
1 水タンクを取り出して水道水を入れる。

水は、水タンクの半分以上から満水までの間に入れる。

ご注意
- 水タンクふたをはずすときやしめるとき、水を入れるときは、水タンクに手をそえてささえながら行う。
- 水タンクに水道水以外のものを入れない。故障の原因。

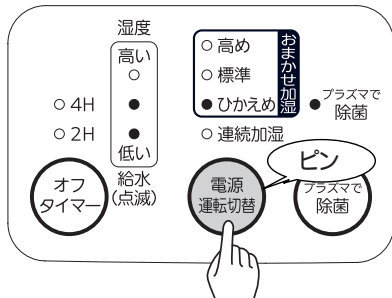
2 水タンクふたをしめ、水タンクを水受け皿にゆっくりセットする。

ご注意
- 水タンクふたは確実にしめる。水がこぼれる原因。
- 水タンクをセットするときは、水受け皿・気化フィルター・フロートが正しく取りつけられていることを確認する。（P.10参照）
正しく取りつけられていないと、充分な加湿ができなかったり、故障の原因。

3 水タンクとっ手を、引っ掛け部に引っ掛ける。

4 電源を入れる。

❶差込プラグをコンセントに差し込む。

❷ 電源/運転切替 キーを押す。

運転モードランプが約30秒間点滅した後、点灯し、加湿をはじめます。

約30秒後

ご注意 水タンクセット直後に 電源/運転切替 キーを押すと、湿度のめやすランプが点滅することがあります。これは、水受け皿に水が満たされていないためです。（しばらくするとランプが消灯するので、再度 電源/運転切替 キーを押す。）

5 運転モードを選ぶ。

電源/運転切替 キーを押すごとに、「連続加湿」→「ひかえめ」→「標準」→「高め」→「切」の順に切り替わり、各ランプが点灯。

※「切」は、すべてのランプが消灯します。
※「おまかせ加湿」とは、快適な湿度を保つように、自動的に風量・ヒーターを調整します。湿度が高いときは運転が止まります。

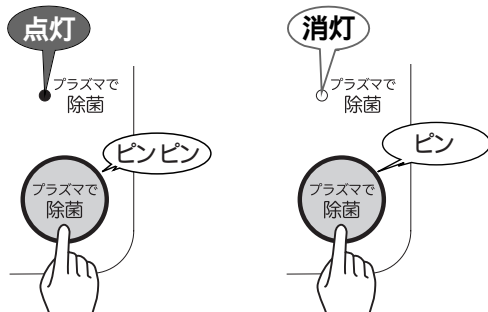
運転モード		特　長
連続加湿		温度・湿度に関係なく、風量「強」・ヒーター「入」で連続運転します。
おまかせ加湿	ひかえめ	風量「弱」・ヒーター「切」で運転します。
	標準	風量「強」「弱」・ヒーター「入」「切」で運転します。
	高め	「標準」よりも湿度の設定を高めに運転します。

※連続加湿時間の目安は、P.15の「仕様」を参照。
※差込プラグをコンセントから抜いて次に差し込むと、「連続加湿」運転から始まります。

音 運転中に「カチカチ」や「ピチピチ」と音がする場合がありますが、故障ではありません。

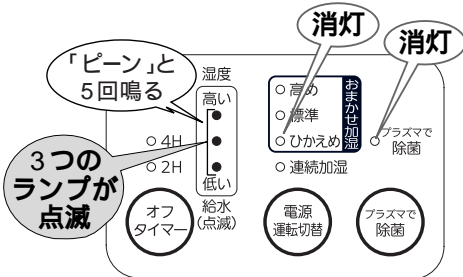
6 「プラズマで除菌」を選ぶ。

プラズマで除菌 キーを押すごとに、「プラズマで除菌」の運転の入・切が切り替わります。

「入」にする場合　「切」にする場合

※差込プラグをコンセントから抜いて次に差し込むと、「プラズマで除菌」の運転は「入」から始まります。「プラズマで除菌」の運転を「入」にすると、同時にマイナスイオンも発生します。

音 「プラズマで除菌」を選んで運転すると、「ジー」と音がしますが、故障ではありません。

水が少なくなったら…

湿度のめやすランプが点滅し、「ピーン」と5回鳴ります。約1分間、冷却のために運転した後、止まります。
水タンクに水を入れてください。（P.7参照）

4 オフタイマーのセットのしかた

オフタイマー キーを押す。

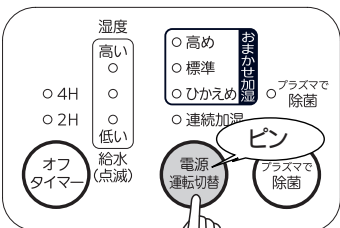
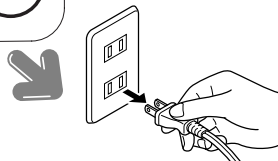
押すごとに、「2H（2時間後）」→「4H（4時間後）」→「解除」の順に切り替わります。

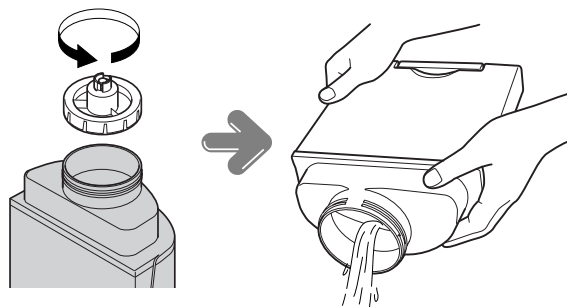
※セットした時間になると、自動的に電源が切れます。（寝る前などにセットすると便利です。）
※4時間後にセットした場合、2時間経過すると、タイマーランプが「2H」に切り替わります。
※セット中でも、運転モードを変えることができます。（P.8参照。電源を「切」にすると、オフタイマーが解除されます。）

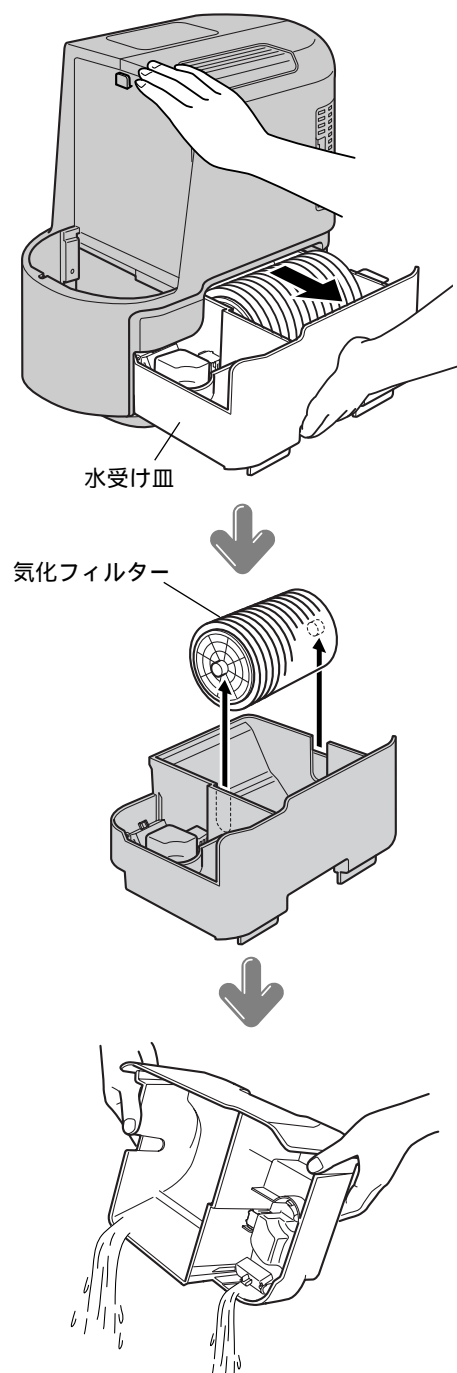
5 使い終わったら

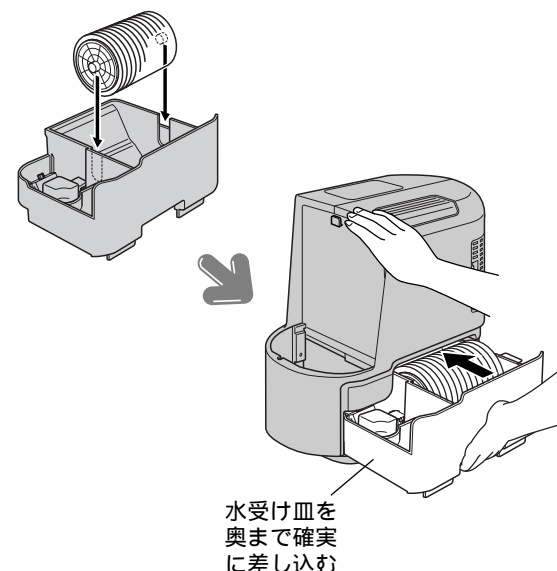
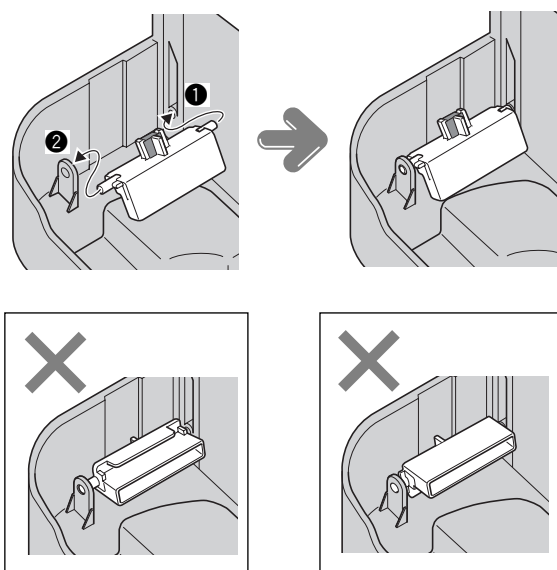
ご注意
●水受け皿をはずすときは、本体内部に水をこぼさないように注意する。
●気化フィルターをはずしてから、水受け皿の水をすてる。抜け落ちて破損の原因。
●水タンクの水は毎日新しい水道水と交換する。
水受け皿に残った水は毎日すてる。
変色やにおいの原因。

1 電源/運転切替 キーを「切」になるまで押して運転を切り、約1分後に差込プラグを抜く。

※約1分間、冷却のために運転した後、止まります。差込プラグはその後に抜く。

ご注意 差込プラグを抜いて、運転を切らない。故障の原因。

2 本体が冷めてから水タンクをはずし、残った水をすてる。

ご注意 水タンクをはずすときは、水滴が落ちることがあるので、雑巾などでふたを押さえるなどして注意する。

3 水受け皿・気化フィルターをはずし、残った水をすてる。

ご注意 本体内部に水がこぼれた場合は、すぐにふき取る。

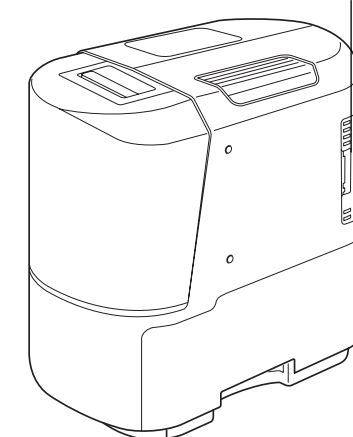
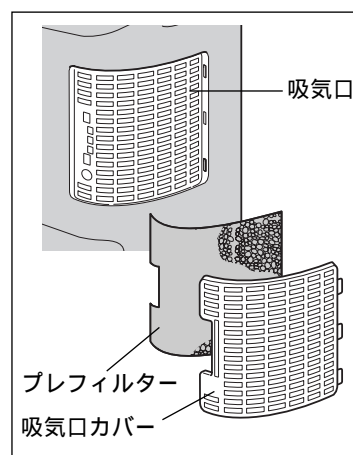
4 気化フィルターを水受け皿に取りつけ、水受け皿を本体にセットする。

※Ag除菌ユニットがはずれたときは、確実につける。（P.12参照）
※フロートがはずれたときは、確実につける。

5 水タンクふたを確実にしめ、水タンクをゆっくり水受け皿にセットする。（P.7参照）

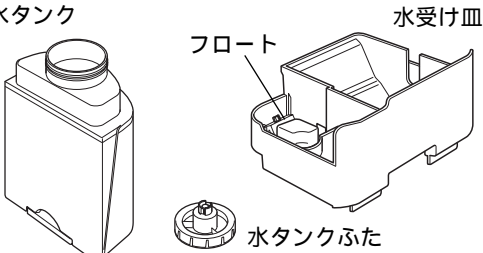
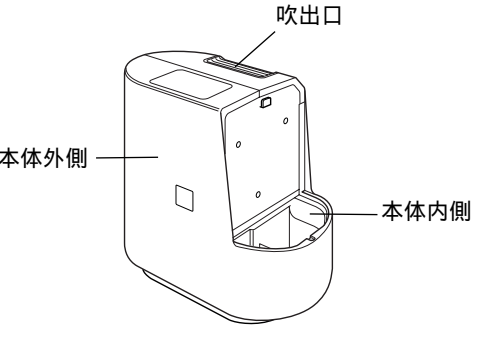
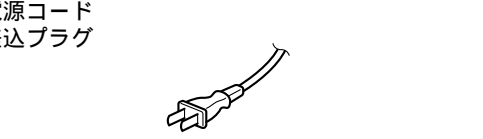
いつまでも清潔にご使用いただくためにお手入れは定期的に行ってください。

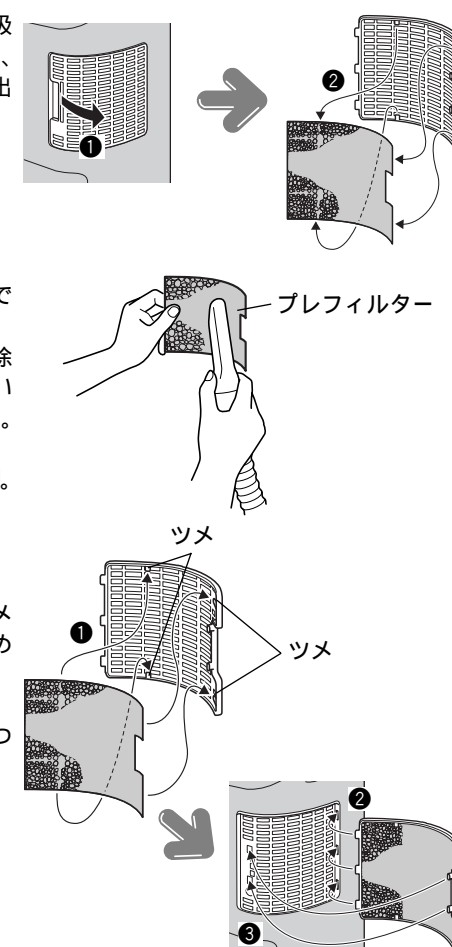
◆差込プラグを抜き、冷えてからお手入れする。
◆スポンジ・布はやわらかいものを使う。

常に清潔に保ち、性能低下、悪臭を防止するためにこまめにお手入れをすることをおすすめします。
水タンクの水は毎日新しい水道水と交換する。水受け皿に残った水は毎日すてる。
また水受け皿は週2回程度定期的にお手入れする。
そうしない場合、水受け皿で水アカが膜状になって付着し、吹出口から風とともに吹き出すことがあります。
また、フロートが正常に動作しないことがあり、本体・水受け皿が変形し、故障・事故の原因。

ご注意
●シンナー類・クレンザー・漂白剤・化学ぞうきん・金属たわし・ナイロンたわしなどは使わない。
●食器洗浄機や食器乾燥器、熱湯などは使わない。
●水タンクのつけおき洗いはしない。
●気化フィルターはこまめにお手入れし、水アカが取れにくい場合は、クエン酸洗浄をする。（P.13参照）
水アカがこびりついたまま使うと、性能の低下・故障・破損の原因。
●本体・電源コード・差込プラグを水につけたり、水をかけたりしない。

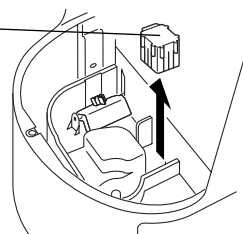
週1回程度お手入れする部品・箇所

1.差込プラグを抜き、吸気口カバーを取り外し、プレフィルターを取り出す。

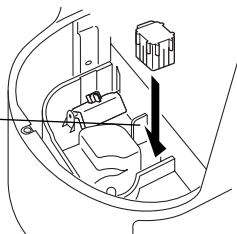
2.掃除機の細いノズルでほこりを吸い取る。
※プレフィルターは掃除機に吸い込まれやすいので、しっかりと持つ。
※水洗いはしない。
除菌効果の低下の原因。

3.プレフィルターをツメ（4カ所）の内側にはめ込む。

4.吸気口カバーを取りつける。

6 お手入れのしかた

	部品・箇所	お手入れ方法
週2回程度お手入れする部品・箇所	水タンク フロート 水受け皿 水タンクふた	1.水タンクは、水を入れてすすぎ洗いをする。 2.水タンクふた・水受け皿・フロートは、スポンジを使って洗った後、すすぐ。（フロートがはずれたときは、正しく取りつける。P.10参照）
	気化フィルター Ag除菌ユニット	1.水またはぬるま湯の中で､ふり洗いする。 2.細かい部分は、やわらかい歯ブラシでこすり落とす。
汚れるたびにお手入れする箇所	吹出口 本体外側 本体内側	よくしぼった布でふき取る。
	電源コード 差込プラグ	乾いた布でふく。

Ag除菌ユニットの取りはずし・取りつけ

■取りはずしかた

■取りつけかた

図のように奥まで確実にはめ込む。

長期間使わないとき

❶P.11･12の要領で各部のお手入れをし、乾いた布でふく。
❷各部を充分に自然乾燥させる。
❸虫やほこりなどが入らないように、ポリ袋などで密封して保管する。

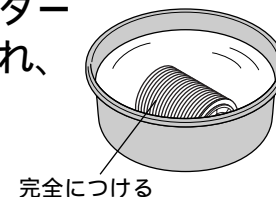
●湿ったまま保管しない。カビが発生する原因。
●旅行などで数日間使わないときは、水タンク・水受け皿に残った水をすてる。

7 気化フィルターのクエン酸洗浄のしかた

気化フィルターの水アカが取れにくいときは、クエン酸洗浄してください。

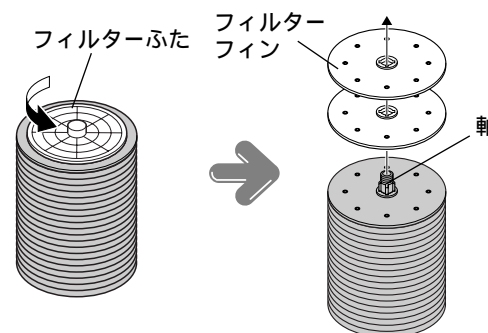
1 気化フィルターを水受け皿からはずす。（P.10参照）

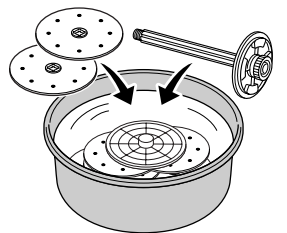
2 クエン酸 約30g（大さじすりきり3杯程度）を、ぬるま湯 約1.5Lを入れた容器に入れてまぜる。
※クエン酸は、薬局・薬店で市販されていますのでお買い求めください。

3 気化フィルターを容器に入れ、約1時間つける。

4 やわらかい歯ブラシで、汚れをこすり落とす。

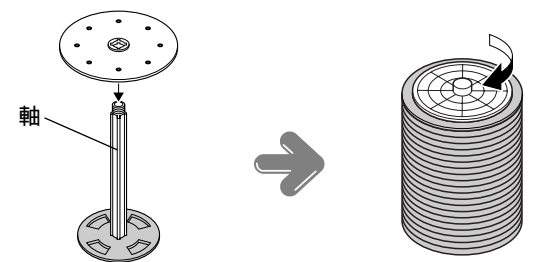
5 水道水で充分にすすぎ洗いをする。

〈汚れが取れにくい場合 ※6〜11も続けて行う。〉

6 フィルターふたをはずして、フィルターフィンを1枚ずつはずす。

7 左記2の要領で、クエン酸をぬるま湯に溶かす。

8 フィルターフィンとフィルターふた、軸を容器に入れ、約1時間つける。

9 やわらかい歯ブラシで、汚れをこすり落とす。

10 水道水で充分にすすぎ洗いをする。

11 フィルターフィンを1枚ずつ軸に差し込み、フィルターふたをしめつけて取りつける。

ご注意
●フィルターフィンは、50枚すべてセットする。
枚数が不足すると、加湿性能がおちたり、カタカタ音が鳴る原因。
●フィルターフィンに強い力を加えない。破損の原因。
●フィルターふたは、しめつけすぎない。破損の原因。

使いかた

8 故障かな？と思ったら

修理を依頼する前に、ご確認ください。

こんなとき	ご確認いただくこと	直しかた	参照ページ
電源を「入」にしても加湿しない。	差込プラグがはずれていませんか。	差込プラグを接続する。	8
	湿度のめやすランプが点滅していませんか。（水タンクに水は入っていますか。）	水タンクに給水してセットする。	7・8
	水受け皿を本体からはずしていませんか。	水受け皿を本体にセットする。	7~10
	湿度が高いときに「おまかせ加湿」運転にしていると、湿度調整のため運転しないことがあります。		—
風の出が少ない。	プレフィルターがほこりで目詰まりしていませんか。	プレフィルターのお手入れをする。	11
	気化フィルターに水アカやゴミが付着していませんか。	**気化フィルターのお手入れをする。**	11~13
	「ひかえめ」運転にしていませんか。	他の運転に比べ風の出が少ない運転です。	8
	カーテンの近くで使用していませんか。	カーテンから離れた場所に設置する。	3・4
水タンクに水があるのに湿度のめやすランプが点滅する。	水タンクをセットした直後ではありませんか。	しばらくして水受け皿に水がたまると、湿度のめやすランプが消灯します。	8
	本体が傾いていませんか。	本体を水平な場所に置く。	—
	水受け皿を本体からはずしていませんか。	水受け皿を本体にセットする。	7~10
	フロートがはずれていませんか。またはフロートの向きが正しく取りつけられていますか。	正しく取りつける。	10
湿度が上がらない、または水が減らない。	気化フィルターに水アカやゴミが付着していませんか。	**気化フィルターのお手入れをする。**	11~13
	気化フィルターをセットし忘れていませんか。	気化フィルターをセットする。	10
	部屋が広すぎませんか。	適用床面積の範囲で使う。	15
	換気をしていませんか。	窓、戸を閉めて使う。	—
においが出る。	気化フィルター、Ag除菌ユニット、水受け皿が汚れていませんか。	お手入れする。	11~13
	水タンク、水受け皿の水を放置したままになっていませんか。	水タンクの水は毎日新しい水道水と交換する。水受け皿に残った水は毎日すてる。また、水受け皿は週2回程度、定期的にお手入れする。	9~12
水もれする。	水タンクふたを、確実にしめていますか。	確実にしめる。	7
	水タンクふたのパッキンが傷んでいませんか。	新しいパッキンと交換（有償）する。	15
水受け皿に異物がたまる。	定期的にお手入れしていますか。	こまめにお手入れする。	11・12
	水道水以外の水を水タンクに入れて運転していませんか。	必ず水道水を使う。	4・7
こすれ音がする。	気化フィルター・水受け皿に水アカが付着していませんか。	気化フィルターをクエン酸洗浄し、水受け皿をお手入れする。	13

こんなとき	理由	参照ページ
樹脂などのにおいがする。	はじめてお使いになるときに、樹脂などのにおいがすることがありますが、故障ではありません。ご使用とともに少なくなります。	—
プラスチック部分に線状や波状の箇所がある。	樹脂成形時に発生する跡で、使用上の品質に支障はありません。	—
吹出口からの風が冷たい。	水から沸とうさせず、風を気化フィルターにあてて水を蒸発させるので、吹出口からの風は熱くありません。	6
蒸気・霧が出ない、見えない。	気化フィルターに風をあてて湿った空気を送り出す方式のため、蒸気や霧は見えません。	6
マイナスイオンが出ない、見えない。	マイナスイオンは見えません。「プラズマで除菌」の運転をしているときは、マイナスイオンが発生しています。	6

すべての運転モードランプが点滅したとき

運転が停止してから、差込プラグを抜いて下記の点検・処置をしてください。
それでも直らないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

ご確認いただくこと	直しかた	参照ページ
水受け皿が確実にセットされていますか。	水受け皿を奥まで確実に差し込む。	10
プレフィルターがほこりなどで目詰まりしていませんか。	プレフィルターのお手入れをする。	11
気化フィルターに水アカやゴミが付着していませんか。	気化フィルターのお手入れをする。	11~13
吸気口・吹出口をふさいでいませんか。	吸気口・吹出口をふさがない。	—
暖房器具のそばなど、温度差の大きい場所に移動して使っていませんか。	暖房器具の温風が当たらない場所に移動させる。	—

すべてのタイマーランプが点滅したとき

本体の異常です。運転が停止してから、差込プラグを抜いて、お買い上げの販売店にご相談ください。

部品のお買い求めについて

熱や蒸気にふれる樹脂部品や水タンクふたのパッキンは、ご使用にともない傷んでくる場合があります。傷んできたときは、お買い上げの販売店、または「連絡先」に記載のタイガーお客様ご相談窓口でお買い求めください。

仕様

項目		値
電　源・周波数		100V 50/60Hz
消費電力※3（W）	高め	435/430
	標準	435/430
	ひかえめ	18.3/16.5
	連続加湿	435/430
加湿能力※1※2（mL/h）	高め	500/485
	標準	500/485
	ひかえめ	130/110
	連続加湿	500/485
連続加湿時間〈最長〉※1※2（時間）	高め	6.0/6.1
	標準	6.0/6.1
	ひかえめ	23.0/27.2
	連続加湿	6.0/6.1

項目		値
運転音※1※5（dB）	連続加湿	40/39
	ひかえめ	27/24
マイナスイオン量〈目安〉※1※6（個/m^3）		10000
水タンク容量※1（L）		3.0
外形寸法※1 幅×奥行×高さ（cm）		32.2×19.5×32.2
質量※1（kg）		3.9

●適用床面積〈目安〉※4

	木造和室	プレハブ洋室
高め・標準・連続加湿	～8.5畳（14m^2）	～14畳（23m^2）
ひかえめ	～2.5畳（5m^2）	～4.5畳（7.5m^2）

※1 おおよその数値です。
※2 水量:満水、水温・室温:20℃、電圧:交流100V、湿度30%
※3 「切」状態での消費電力は、約0.4Wです。
※4 使用状況、環境により異なります。
※5 運転音は、本体前後左右上方向1mの5方向の位置で測定した平均値。
※6 マイナスイオン量は、「連続加湿」運転時、吹出口より吹出方向1mでの数値です。（当社試験室、室温20℃、湿度60%にて当社イオン測定器による測定結果。）また、マイナスイオン量は、使用環境（室温・湿度・空気の汚れなど）によって異なります。

連絡先

タイガー魔法瓶株式会社
本 社　〒571-8571 大阪府門真市速見町３番１号

使いかた・お買い物のご相談は お客様ご相談窓口

受付時間:AM9:00～PM5:00　月曜日～金曜日（祝日・弊社休業日を除きます）
※携帯電話・PHSとIP電話等（ナビダイヤルを利用できない電話）の方はこちらへ　TEL（06）6906-2121

※上記の連絡先の名称、電話番号、所在地は変更することがありますのでご了承ください。

ホームページアドレス　http://www.tiger.jp/

困ったときは

その他